

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak LICENSED PRODUCT

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



為永春水作
歌川國磨画
佐野の渡
雪乃ハツ橋

松壽堂新刊
初編
癸丑
春新板

へい
3054
1



持
へ13
3054
1-2

へ13 特
3054
1

佐野

上之卷

東路の佐野の舟橋かけてのこりい
娘の成るる人のふまこ上毛なる佐野の舟橋什
小意を言ひ那鉢の木と強曲小綴り
事蹟我假用とを色バ甘み下世界北條時合ども縁と
下毛なる佐野ふなせし腰橋小安種ト廉沼の家系多し佐野の
沖宮次郎左衛門の百人破の今めをるるを下小出さん考より
今昔合きて全部となす二所絨の伝字流兼子共六浦の
学術が故事なり顔なる縁の縁もこる例のりや香
作者いんとまら指下をもせし置しそふのも業香を
しそさ目の矢びの種ともしるさんのに

癸丑の春吉辰

爲永春水巳

一圓齋園慶画

木表堂様

きり



佐さ

田の

渡こころ

ゆき

乃

橋

癸丑
新刻

為永春水著

初編上卷

初編下卷

歌川國麿画

松壽堂板



子常孝の許嫁
野の雪
後野の雪
娼妓八橋

佐野の巨
常孝
後改名次郎左門と云



佐野の

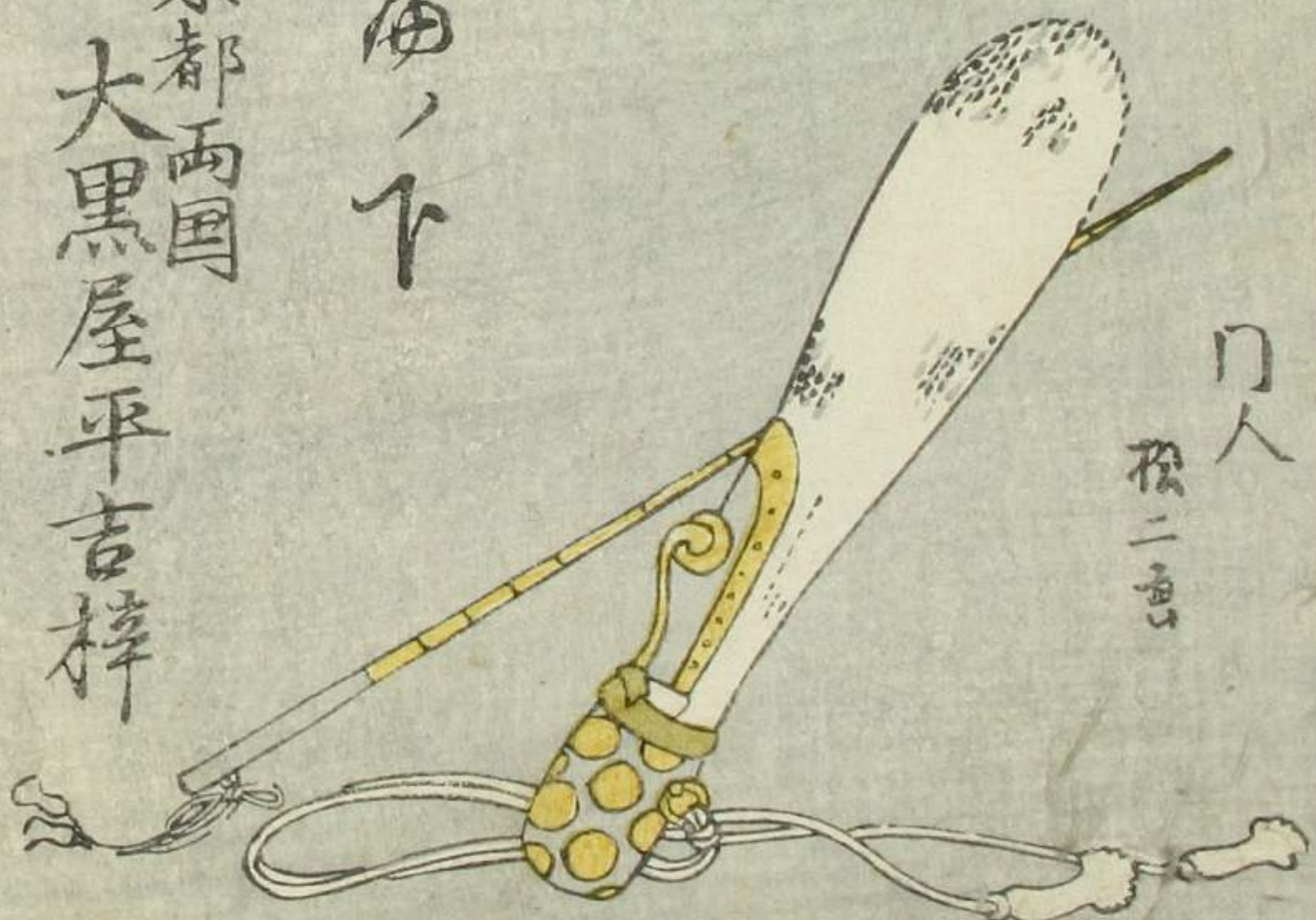
渡雪乃

ハツをし

初篇ノ下

為永春水作
橋本橋國彦画

東都西国
大黒屋平吉梓



只
板二重



廉沼荒太郎
敦定

安藤真弓之助
春世



六浦の息女
雛鶴姫

母野嶋



安やす籾の使つか女め
千ち枝え

康か沼の使つか女め
茨いば枝え



坂さか東とう
順のり太た

奸かん臣しん
毬たま見み栗り九く郎ろう





その人々の世に...
その人々の世に...
その人々の世に...

その人々の世に...
その人々の世に...
その人々の世に...



その人々の世に...
その人々の世に...
その人々の世に...

その人々の世に...
その人々の世に...
その人々の世に...

山とてちを
山とてちを



山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを

山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを

山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを



山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを

山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを

山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを

山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを
山とてちを



父の世に
父の世に
父の世に
父の世に
父の世に

父の世に
父の世に
父の世に
父の世に
父の世に

父の世に
父の世に
父の世に
父の世に
父の世に



父の世に
父の世に
父の世に
父の世に
父の世に

父の世に
父の世に
父の世に
父の世に
父の世に

歌川國麿画(圓)爲永春水作(圓)



杏壽堂刊行

曲亭翁
女水滸
傳
十五編
大尾

藏板略目錄

風俗金魚傳
五編 馬琴作
大尾 國安画

雲雀山蓮糸織
五編 玉蘭齋作
大尾 貞秀画

風俗伊勢物語
十編 仙果作
出板 貞秀画

國字水滸傳
二十編 仙果作
出板 國芳画

三國志画傳
廿編 貞秀作
廿編 直久画











文久三癸亥孟春發行目錄

弘化大雜書万々曆

大分 全一冊

○ 佐野渡雪八ッ橋

八編 為永春水作
九編 梅蝶樓國貞画

○ 昔語室壁太郎

八編 為永春水作
九編 一壽齋國貞画

○ 愛娘出世太平記

三編 為永春水作
四編 一曜齋國郷画

ト 地本草紙問屋松壽堂

東都兩國吉川町
大黒屋平吉板

朝鮮牛肉丸
名方 一百八個 在入金三束
才のりてその皮を剥き
その皮を細かくし
るをさへかきけり
り法痛し活きの太
菜おろしをいれ
下食をいれ
弘化 辨治氏

為永春水作一圓齋國曆画



清書 金川

うまき
なまき
ざんろあぐら
あまわらも
ひとむき
あまぐ
あまぐ
これち
あまの
あまの
あまの
あまの

○ 才三の
くろの
あまの
あまの
あまの
あまの



佐野乃

渡雪の
ハヤシ
楊

武編

為永春水著
橋本棟國磨画



癸丑新板



一圓齋
画

大平梓

春名著
因磨画

佐野の
渡雪乃
八ツ橋
二篇、上

癸丑、
去

門人
松二吉

東都兩國吉川町
大黒屋平吉板



春水作
國麿画



久一年

佐野乃

渡

雪

八

橋



二編下

大平板

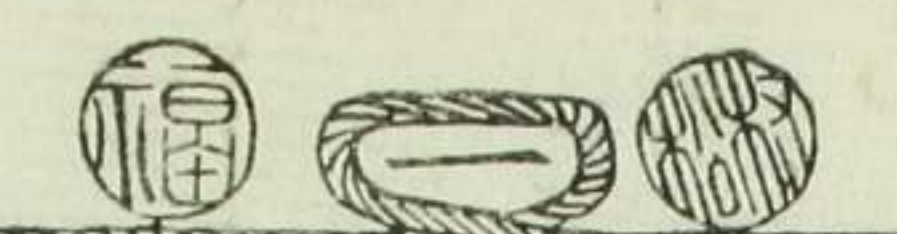
二編上

俗の
修時乃
癸丑
春

口人
松二

おろし
ハツ
二編下

春水著
東都
松島を梓
園磨画



金が敵の世の中と云ふ半兵衛が身の迫りも浮世を觀せし金言
あれど地獄の沙汰も金次第と堪忍五両の相場と上七兩
二分の首代出せば密合せし命もはるるれ菰とぬ麻の垣生
の小家も金さへ出来れば阿房宮酒池肉林を取のり食山
元と抜ける驕りもあるも黄金の光を結の神も出雲下る佐渡
小利益のある世の中賜が貸殖共回も及ぶ余が敵あはれく金
こそ自己が味方るれ素直稗史小説の勸微と宗とまされど巧きれば
に絶む開城をうけ不綴れん或は金と敵としく金故一期と過つあれは或は金を
味方とてこそ一身と立る不至の開は只是非の二つやく貪るとは敵とあり天
授と受まは味方とる善悪用捨の方便を譲ておそれを得るの教と姉妹
示さるる作者が微意とも言ひ言へん



癸丑孟春新鐫

鳥永一号
柳廼門と類英誌



佐野の下僕
勇助



鼻下
永四郎
延高



處女二見

石濱の
漢夫
忠助



女房
尾松





わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え
わがもも抱え

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに



初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ
初めつぎ

あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと
あけてゆくと

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに





○の巻
あつたてをひ
てんせうらけ
とくわあや
あまのね
あんと
さうて

○きぬき
さんとま
あつたて
あまのね
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて



あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

あまの
あつたて
あまの
あんと
さうて

三つは... (Vertical text columns on the right page, describing a scene or conversation. Includes characters like 三つ, 三つ, 三つ.)



三つは... (Marginal text on the right edge of the page.)

九 (Page number at the bottom right of the page.)

三つは... (Vertical text columns on the left page, continuing the scene or conversation. Includes characters like 三つ, 三つ, 三つ.)



三つは... (Marginal text on the left edge of the page.)

九 (Page number at the bottom left of the page.)

國磨画春水作



弘化大雜書万々曆 大本一冊

拳獨稽古初心傳 中本一冊

茶番早合点 中本一冊

國字永許傳 重田先生撰

初編ヨリ廿編迄出来

尚時流の... 一百八人の義勇と云記
 國字永許傳 歌川国芳画
 初編ヨリ廿編迄出来



あまふひこ夜と
あせりま

あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま

あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま

あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま



あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま

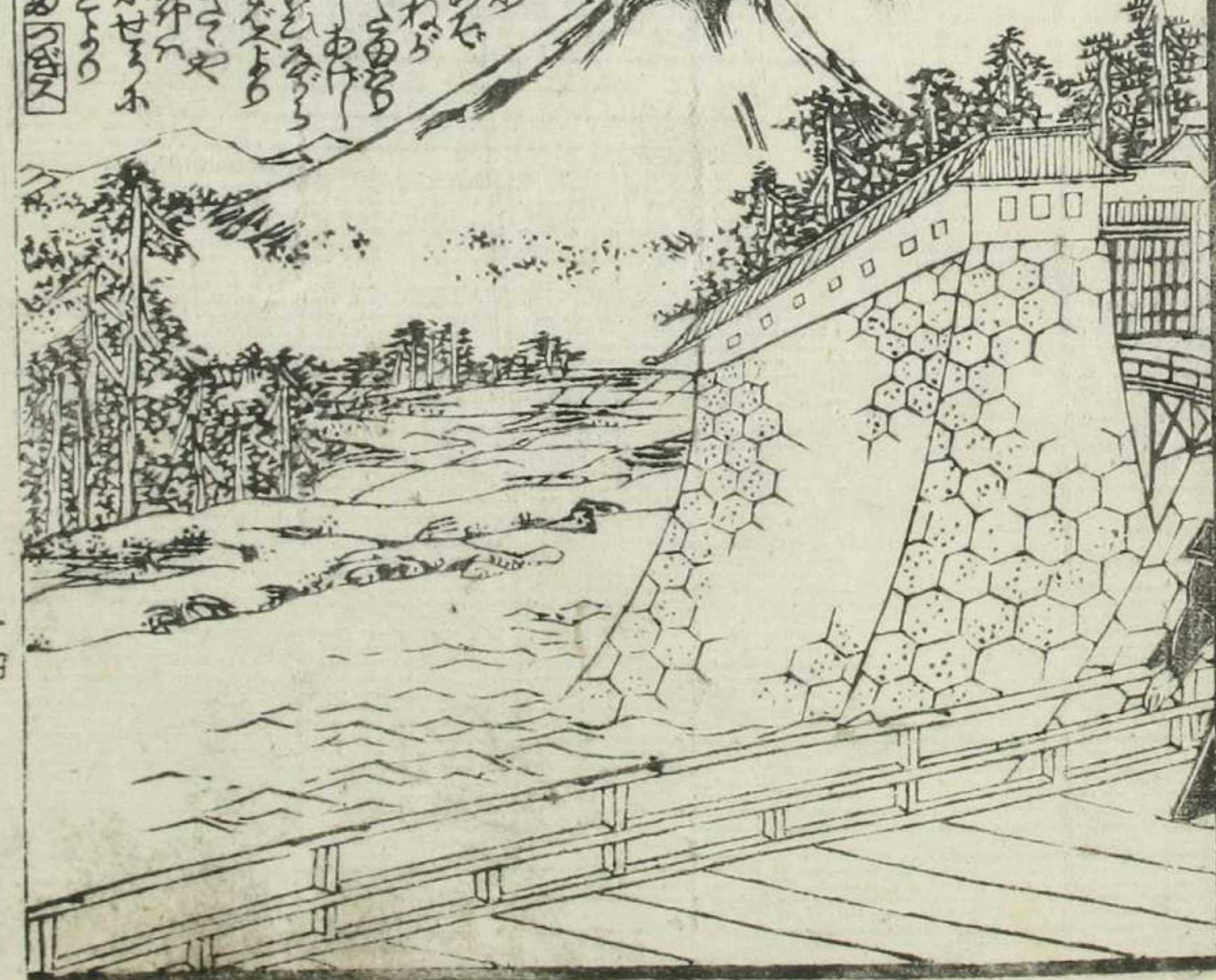
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま

あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま

あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま
あまふひこ夜と
あせりま

さいはらたあ
 ありんかやうう
 せんろくぢやうぢ
 のいんせいのめ
 こまにせんせいのめ
 せんのせんに
 のうらな
 ありんかやうう
 せんろくぢやうぢ
 のいんせいのめ
 こまにせんせいのめ
 せんのせんに
 のうらな

あつちふとつたふと
 おららるるるるるる
 ありんかやうう
 せんろくぢやうぢ
 のいんせいのめ
 こまにせんせいのめ
 せんのせんに
 のうらな



十百

あつちふとつたふと
 おららるるるるるる
 ありんかやうう
 せんろくぢやうぢ
 のいんせいのめ
 こまにせんせいのめ
 せんのせんに
 のうらな



九



ねんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん
 ねんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん
 ねんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん

□これのまもるまの
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん

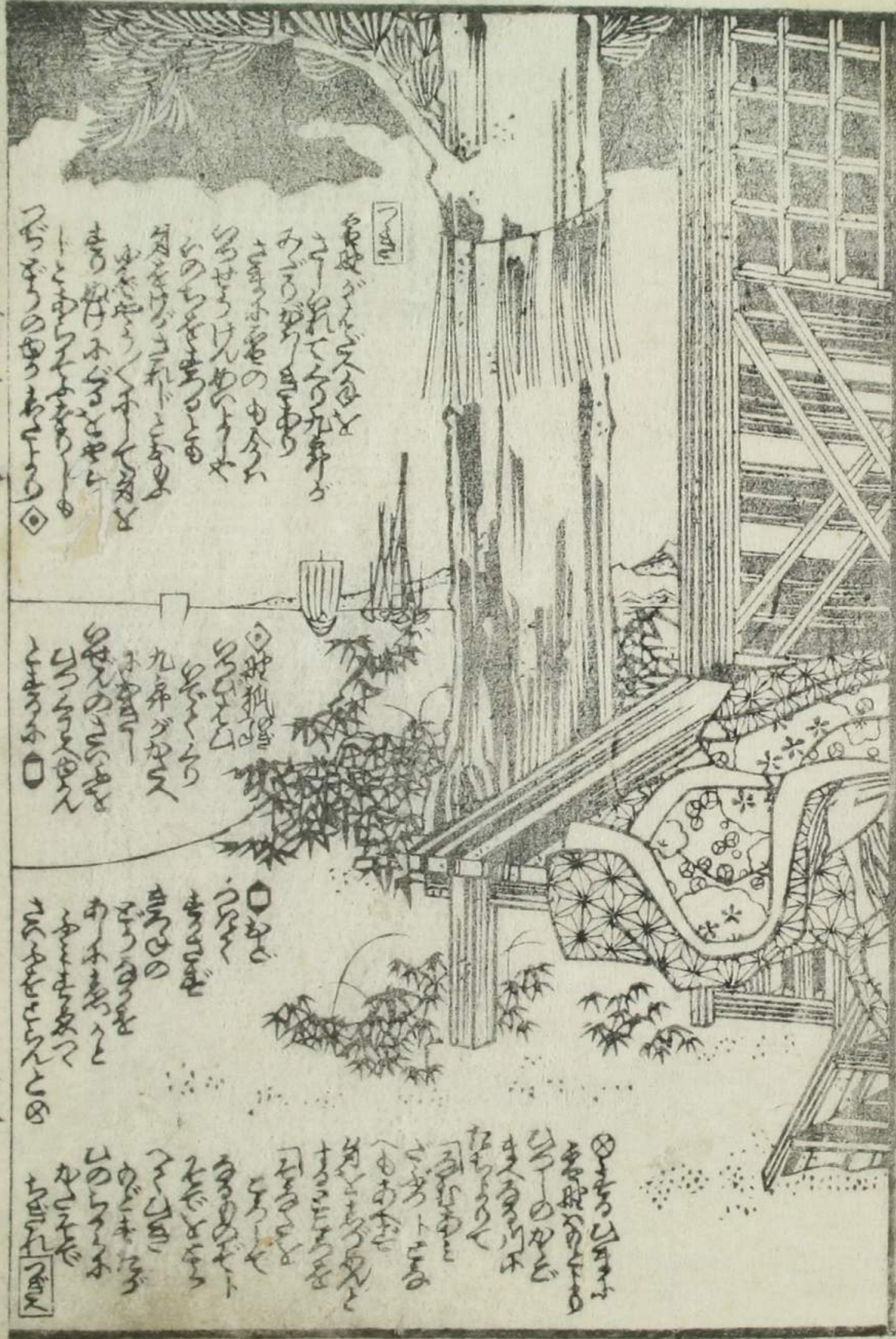
らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん
 ねんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん



ひげとてはげとて
 まんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん
 ねんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん

□これのまもるまの
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん

らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん
 ねんざんざん
 らんらんらん
 のどもらんま
 りんらんらん
 らんらんらん



多岐がんでんや
こりれてる九井が
みこりぢりぢり
はまのふさのゆふん
らせうけんめい
いのちをまの
あをけいれと
まのけいれと
とちのちのちのち

九井がんでん
まのけいれと
とちのちのち

まのけいれと
とちのちのち

まのけいれと
とちのちのち



栗

雪



廿九夜二



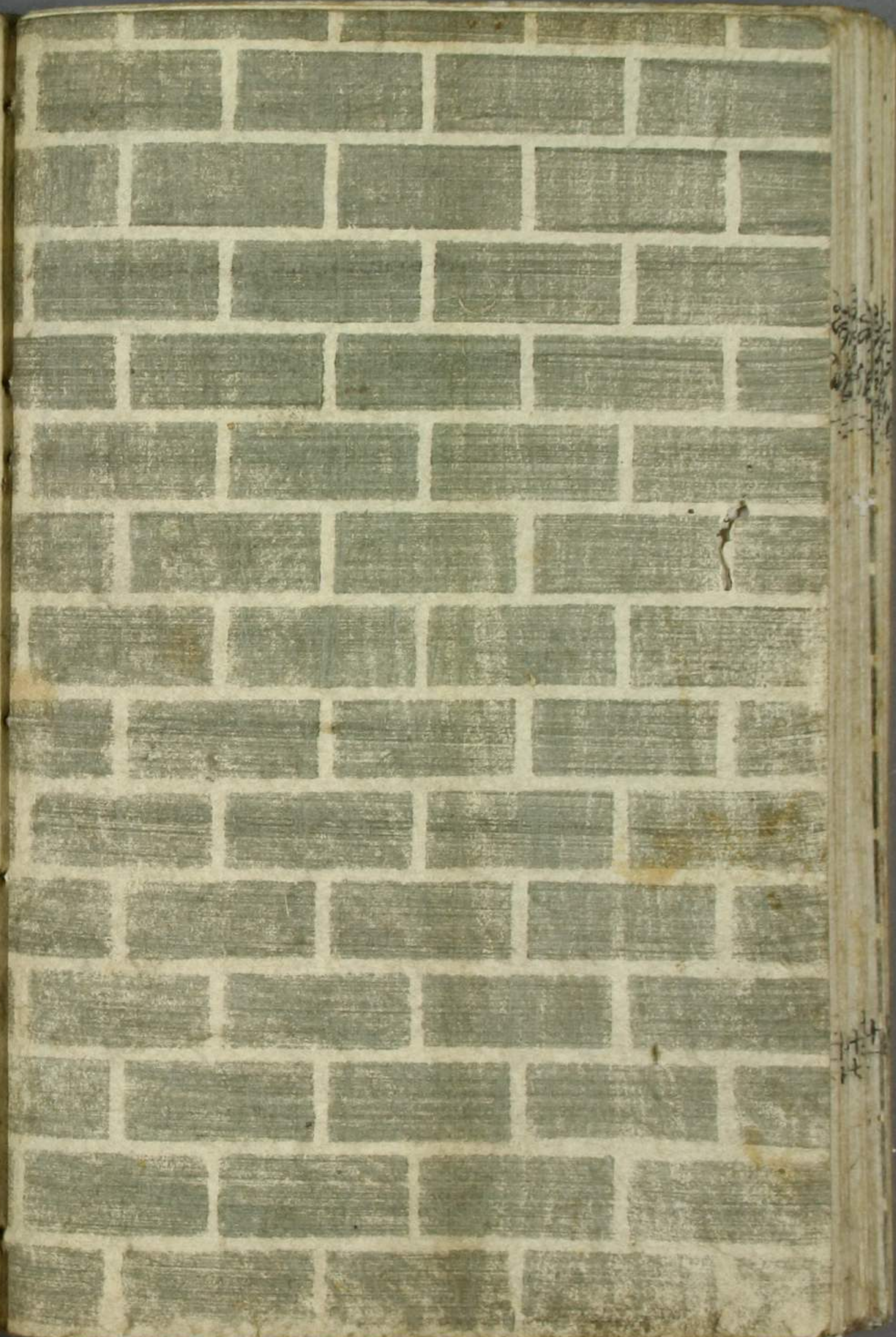
廿九夜二

春水著
國磨画

三編

佐野渡
雪乃橋

甲寅
新刻



為永春水著
歌川國麿画

佐野渡

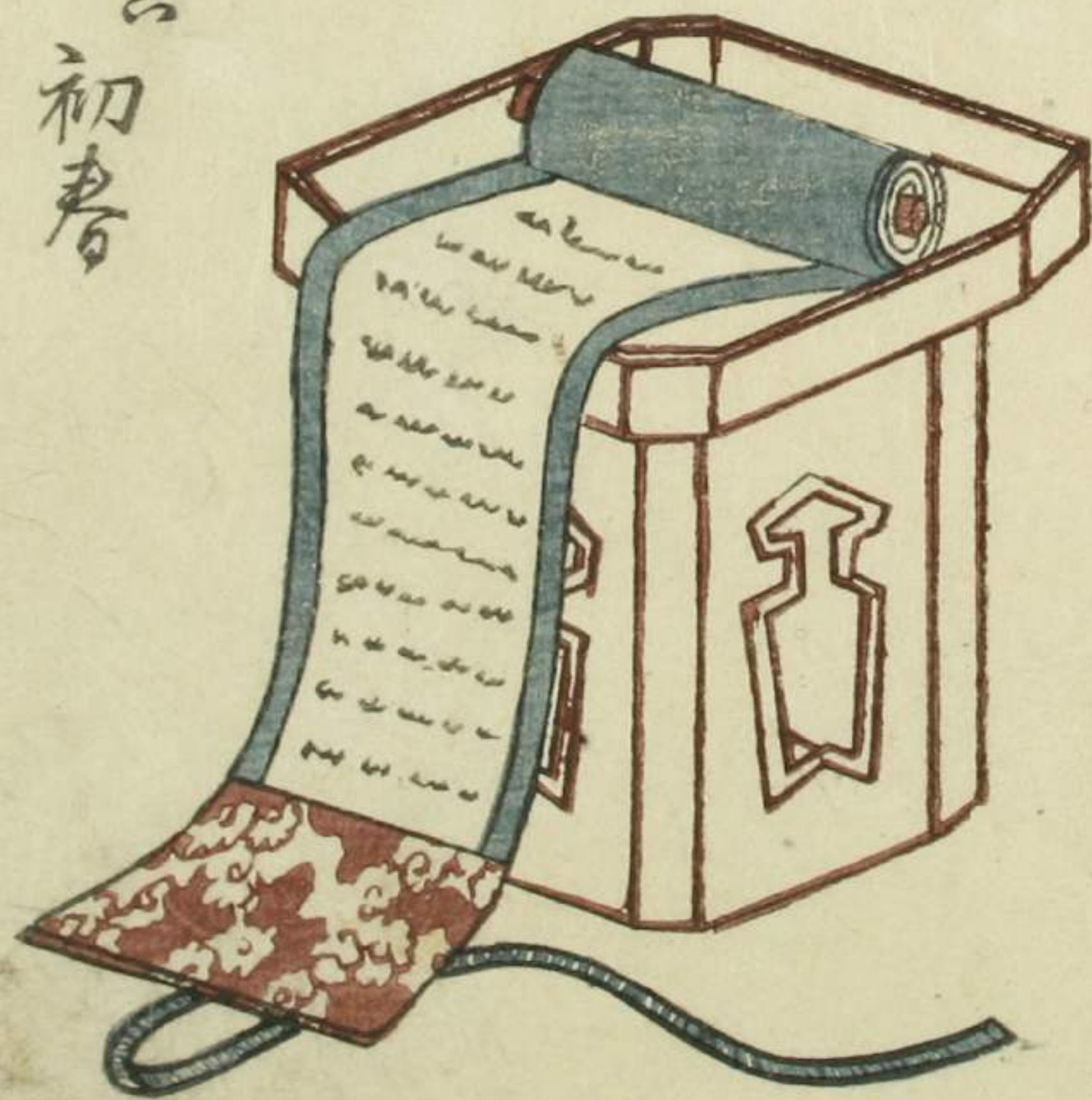
雪乃

ハッ橋

三篇上ノ巻

甲寅
初春

松壽堂様





橋姫園屋画

為永春水画

三編下



佐野渡雲乃八橋
甲寅ノ春新刻

三編上

松壽堂上梓

仕屋渡

雪乃梅

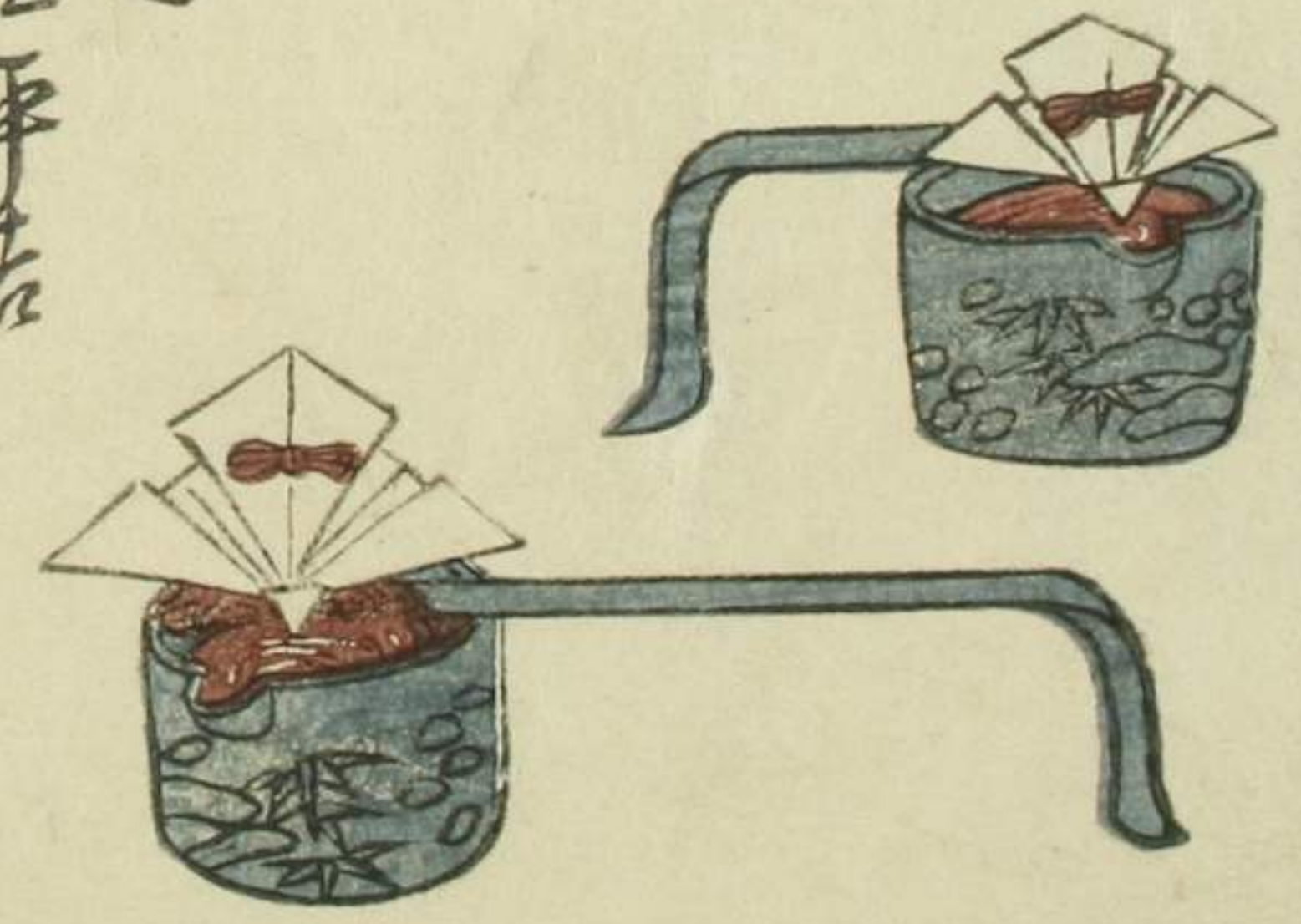
三篇下ノ巻

春水作
國彦画

東都西園
大黒屋平吉

様

門人松画



萬葉集に『下野の安孫の河原の石ぬき』
百首『引連』
の二首小春不ふ架かの種ねととままれれともも素ゆりり巧たくく條すぢぢももああくく只たゞゞのの心こののかかののむむくく隨まりり辭じの
不ふ葉は城じとと枝えをを交まじじりり稍やみみ三さん節せつをを伸のびびかかとと所しよ謂ゐ獨どく活かつのの大おほ木きああるる句く
ひも味あじももああきき著あららるる作さ身しんのの相あいいふふ足あ疎それれくく已いくくらら酢す味み噌そうををは
けけののせせんんとと思おもひひ元げん自じ販はん元げんのの獸け物ぶつとと知しりり仕し込こをを急いそぎぎくく尚なほかか替かりりのの准じゆん
備いととのの需いふふ所しよへへ听きけけとと作さ者しやのの骨ほね不ふ左さにに右みぎ趣そ向むかひひ切き物ぶつるるれれどもども此こゝかか間まととを
言いひひふふくく画え工こうのの鯉こい節せつ不ふ出でししととははけけ一いち寸すん当たう坐ざののかか間まをを合あはあししるる

嘉永七甲寅歲孟春



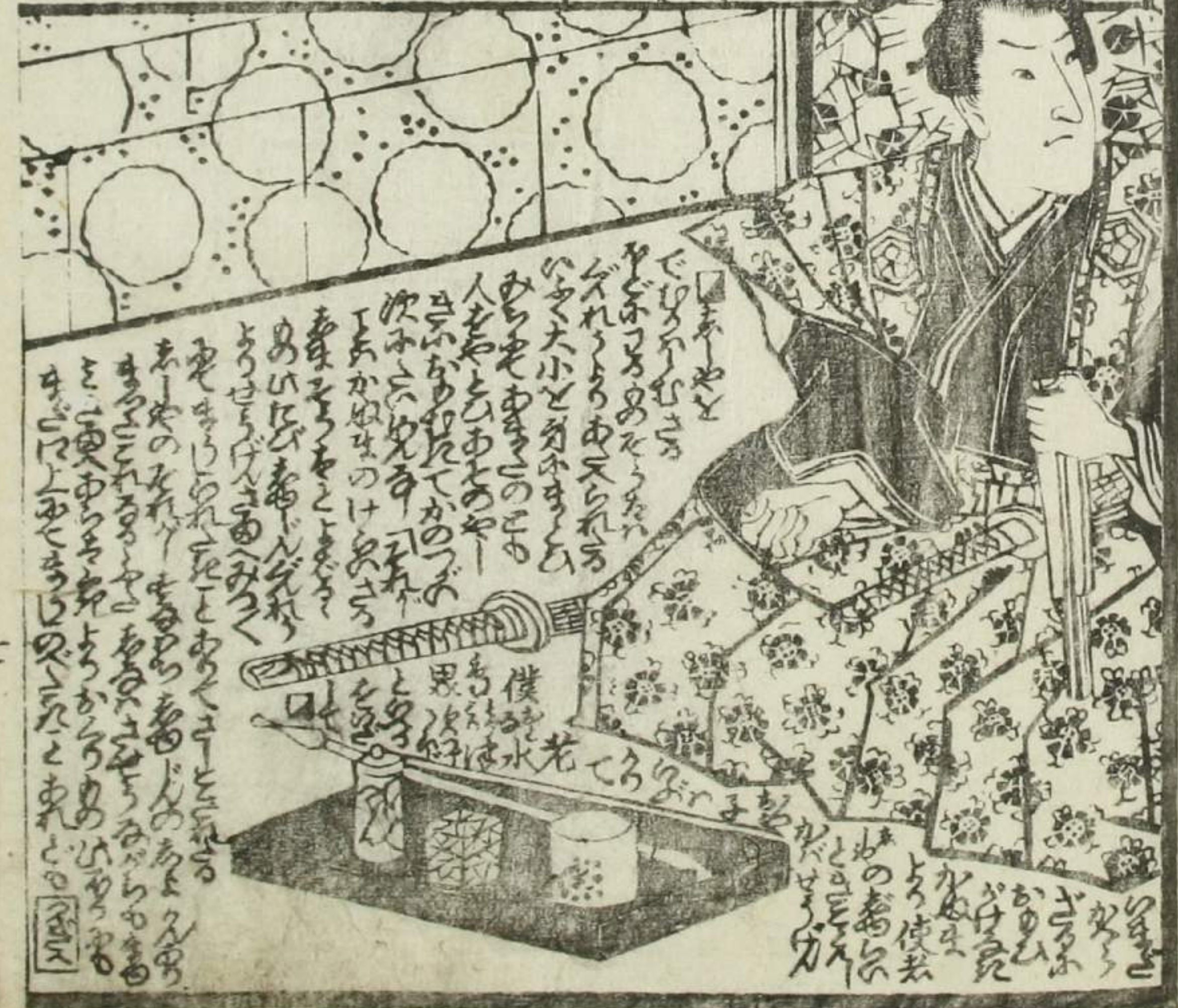
鳥永春水誌



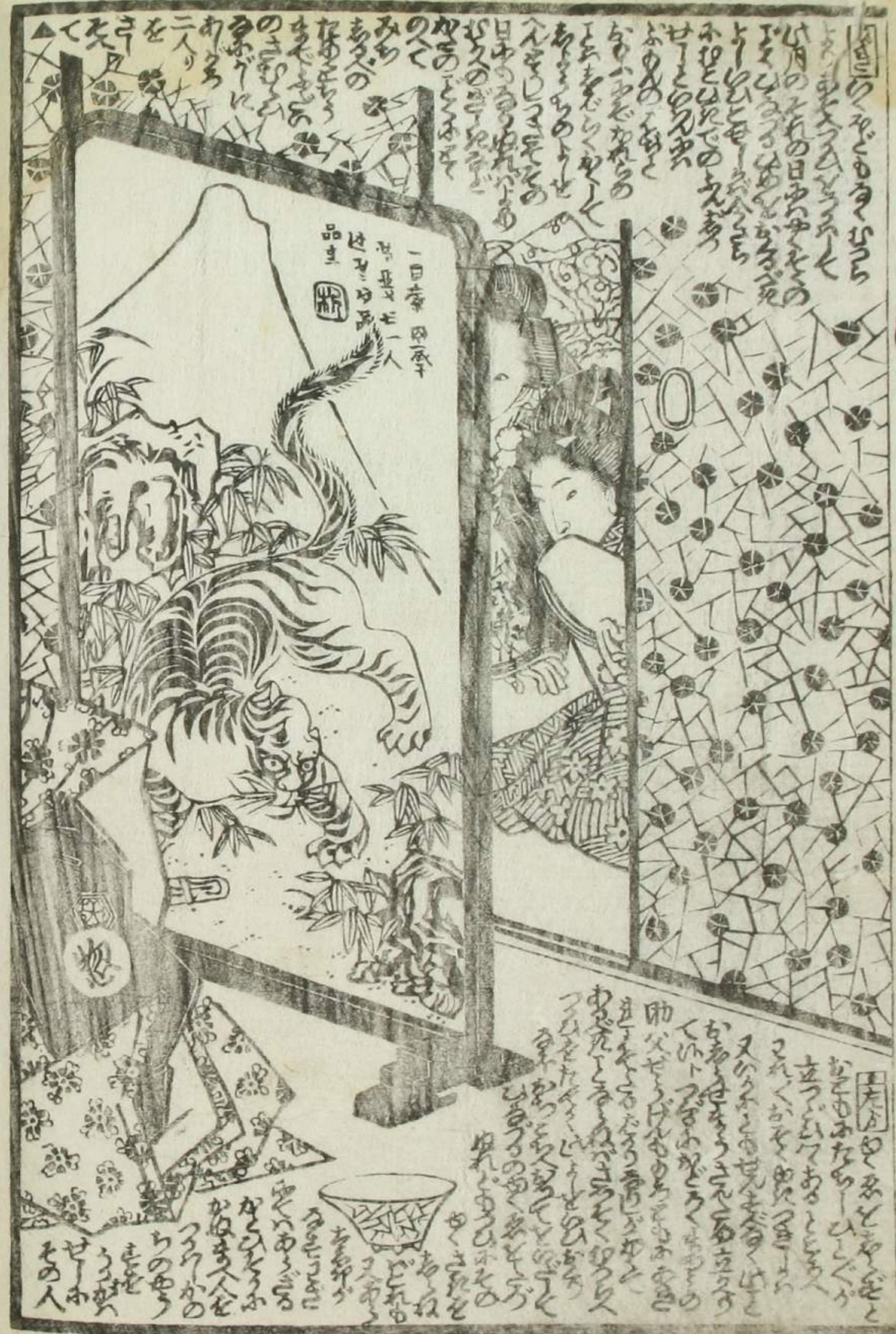




中ついでに...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...

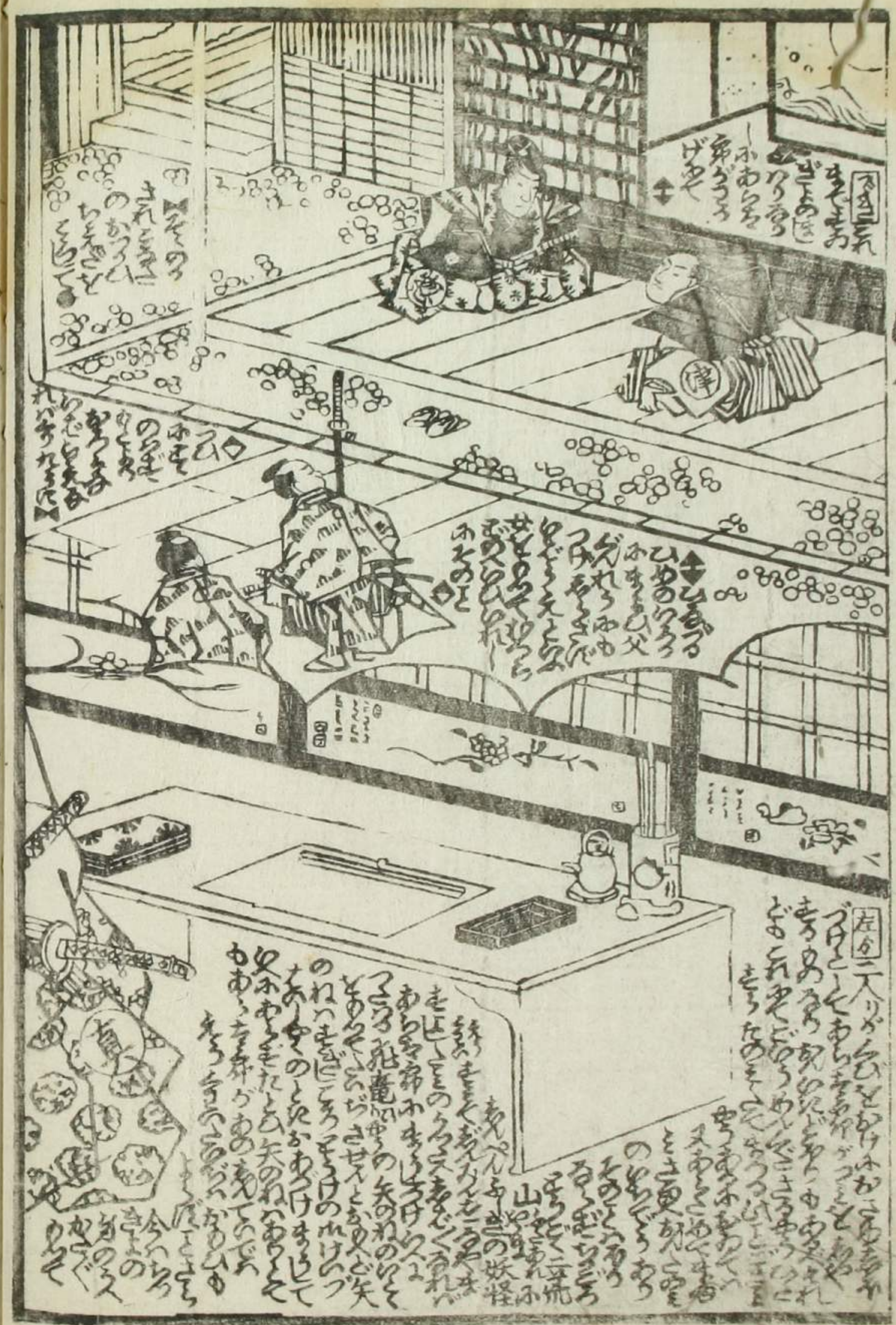


中ついでに...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...



中ついでに...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...

中ついでに...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...
 かねて...





まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ



まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

まゝの助
あまのいひ
まゝの助
あまのいひ

津

園磨畫圖

一、この図は、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
百



春水作

本壽堂刊行

曲亭翁

女水滸

傳
十五編
大尾

曲亭馬琴作

歌川豊國画

藏板略目錄

風俗金魚傳

五編 馬琴作
大尾 國安画

雲雀山蓮系織

五編 玉蘭齋作
大尾 貞秀画

風俗伊勢物語

十編 仙果作
出板 貞秀画

國字水滸傳

二十編 仙果作
出板 國芳画

三國志画傳

廿編 貞一作
廿編 直久画



月夜に
 おのれを
 見しは
 うれし
 けれ
 ば
 月夜に
 おのれを
 見しは
 うれし
 けれ
 ば

月夜に
 おのれを
 見しは
 うれし
 けれ
 ば
 月夜に
 おのれを
 見しは
 うれし
 けれ
 ば







此の人の名は...
 花の...
 水...
 花...

花の...
 水...
 花...



此の人の名は...
 花の...
 水...
 花...

花の

花と水の...
 物...
 出...
 合...



此の如き御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは



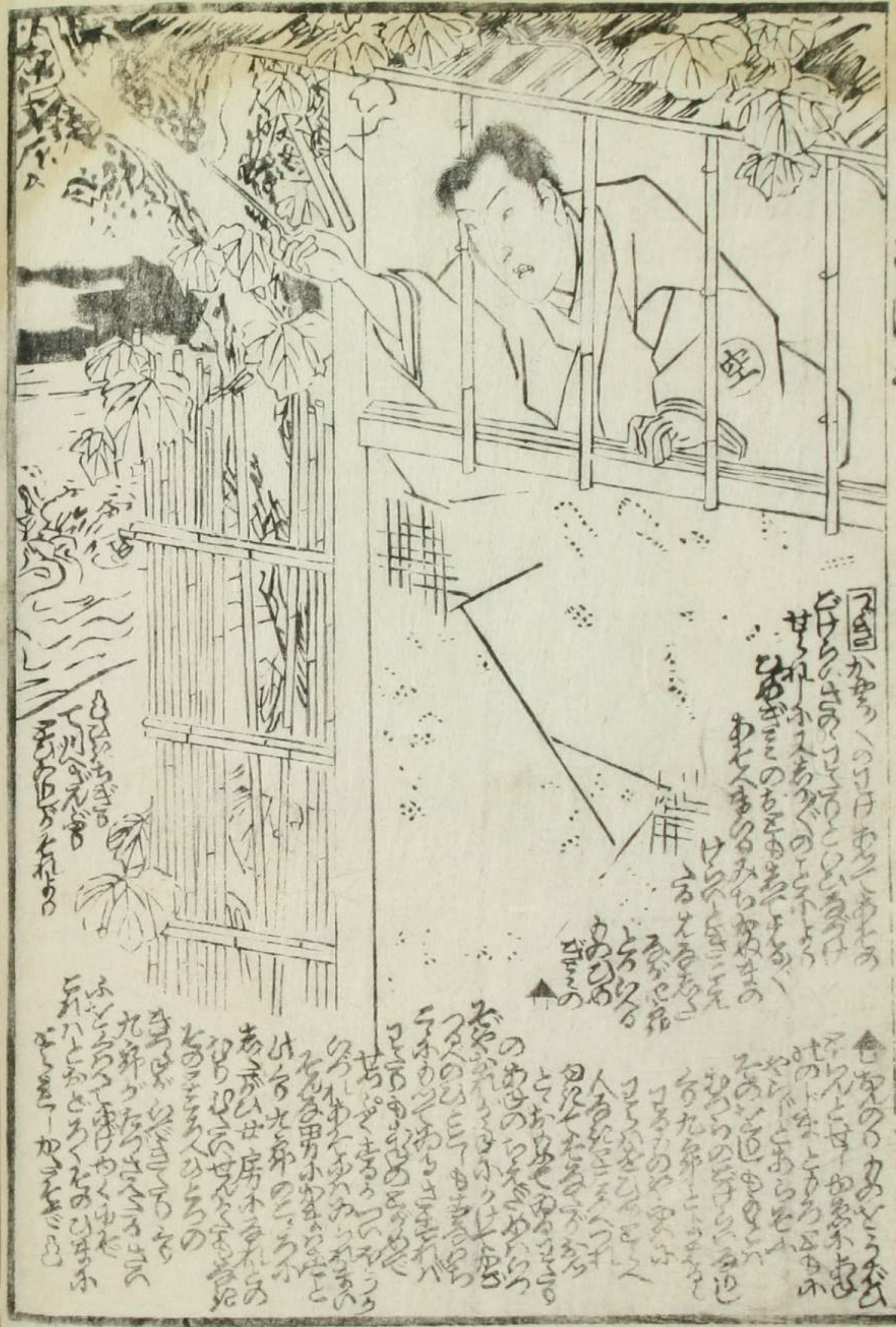
此の如き御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは

此の如き御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは

此の如き御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは
 御座り申すは御座り申すは



月夜の舟に坐す女は月を見上げて
 涙を流す。舟には衣箱と籠が
 あり、遠くを渡る旅の情景が
 描かれている。



窓の向うに月が照らす。男は
 静かに外を眺め、遠くを渡る
 旅の情景を想像している。





十人ばかりのさむざむと
 ゆくればその日中まで
 登りてをりてくまの
 けみちをりてくまの
 つきの日のひかまを
 とらふてあれ山の
 木のこけはあけり
 そのくまのあけり
 登りてをりてくまの
 登りてをりてくまの



ついでにまじりてあつめ
 けりてをりてくまの
 登りてをりてくまの
 つきの日のひかまを
 とらふてあれ山の
 木のこけはあけり
 そのくまのあけり
 登りてをりてくまの
 登りてをりてくまの



左のやどかへてをりて
 上をりてをりてくまの
 登りてをりてくまの
 つきの日のひかまを
 とらふてあれ山の
 木のこけはあけり
 そのくまのあけり
 登りてをりてくまの
 登りてをりてくまの

文久三癸亥孟春發行目錄

弘化大雜書万々曆 大分 全一冊

○佐野渡雪八ッ橋 八編 為永春水作
九編 梅蝶樓國貞画

○昔語室壁太郎 八編 為永春水作
九編 一壽齋國貞画

○愛娘出世太平記 三編 為永春水作
四編 一曜齋國貞画

○地本草紙問屋松壽堂 東都兩國吉川町
 大黒屋平吉板

為永春水作る歌川國麿画



朝牛肉丸 鮮牛肉丸

真

コレは... 身は... 心は...



乙卯初春
新板

佐野渡

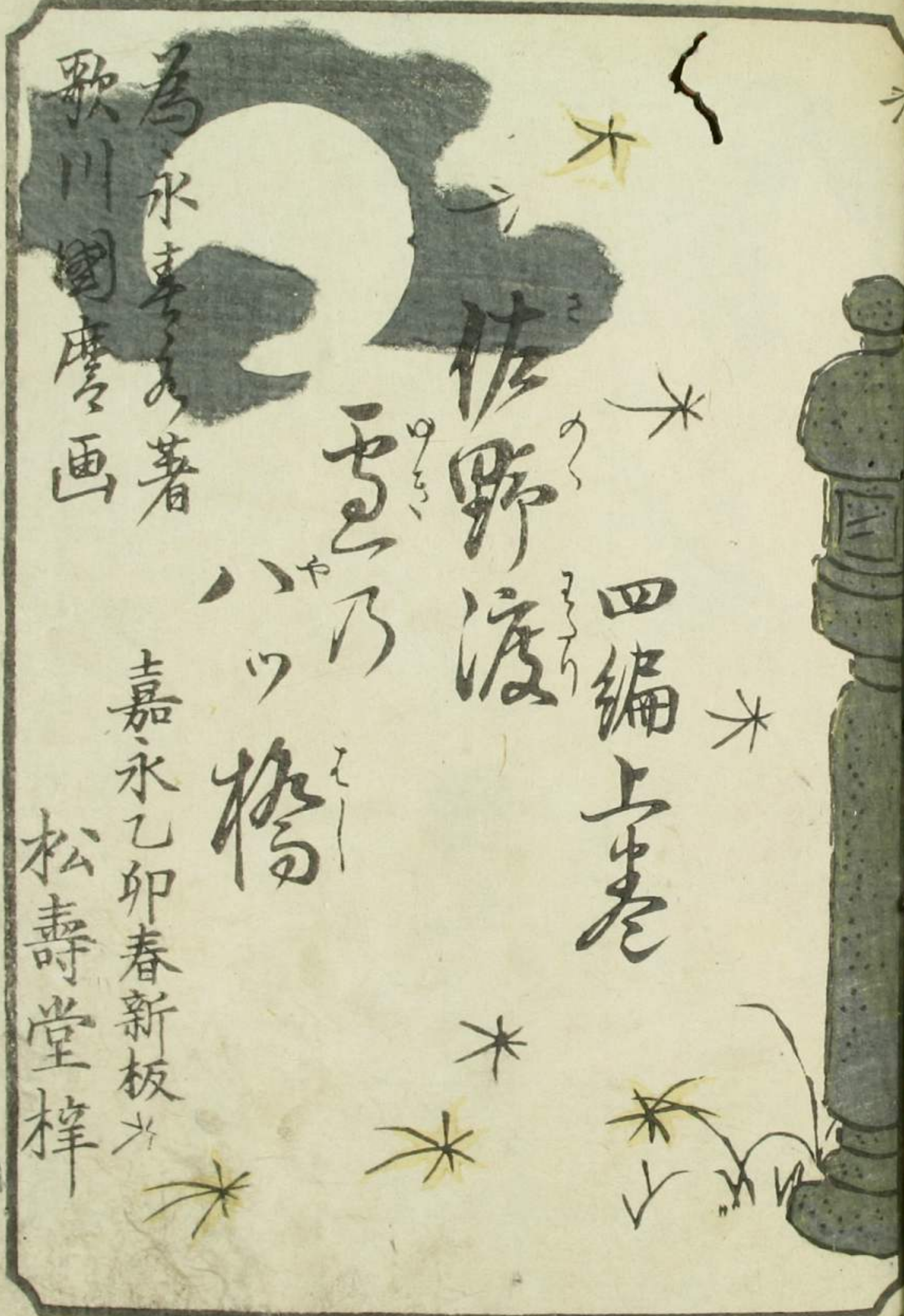
雪

ハツ
橋

四編

春水著
國麿画





歌川國麿画

嘉永乙卯春新板

松壽堂梓

佐野渡
四編上巻

ハツ橋

遠葉子殊の外評解
 第五編より八画もお別添の國貞お札を彫摺美々
 仕主上續の古編七編と面をく出扱仕れハ橋ふハ
 四方の看官つりく高評とまらまといふ
 板元敬白



佐野渡雪八橋

四編下

板平大

四編上

蛭蝶樓國麿画

為永春水作

介題曲多河田



水作
國唐画

信

雪能ハツ橋

四遍下巻

大黒屋平吉

今篇第四輯ふ出せとてその二荒山出せり下毛國都賀郡小々人王四十八
 代神徳天皇の御宇勝道上人開創す勝道は垂仁帝第九の皇子卷向
 尊十余代の孫若苗姓高藤磨の子ありと云云尔来弘法慈覚の兩大
 師統りて登山為めいつ所々の堂社を建立せしむる灵山ある所を這山の
 中道より奥の女人及牛馬を登せむ仍て馬返村と云地名の里ありと俗
 のく知る如しと新小言のいふとゆりやこれと女人禁制の深山鹿沼郡
 領敦実が早川邊汝と名づけし二個の側女を伴ひて事看官怪とた
 ましあはれ一開い又後自ら分解せし意味ある歟今あはれを言ふにけ
 るは僅小作者の用心を考へて半員を塞ぐ

乙卯八孟陽新販

為永春水誌



側女
遊女



早川
早川



鹿沼の取次士
姓名
未詳

稲村の薩の磁師者



安禰の
駒平
中野の
軽平

下奴
阿波平



おまの月
かけも山
のよかお花
夜にのみ
あきらめ
けんごのそ
ごころも
もかのちか
つはらみ
けのちか
くものちか

あきらめ
ごころも
もかのちか
つはらみ
けのちか
くものちか

あきらめ
ごころも
もかのちか
つはらみ
けのちか
くものちか

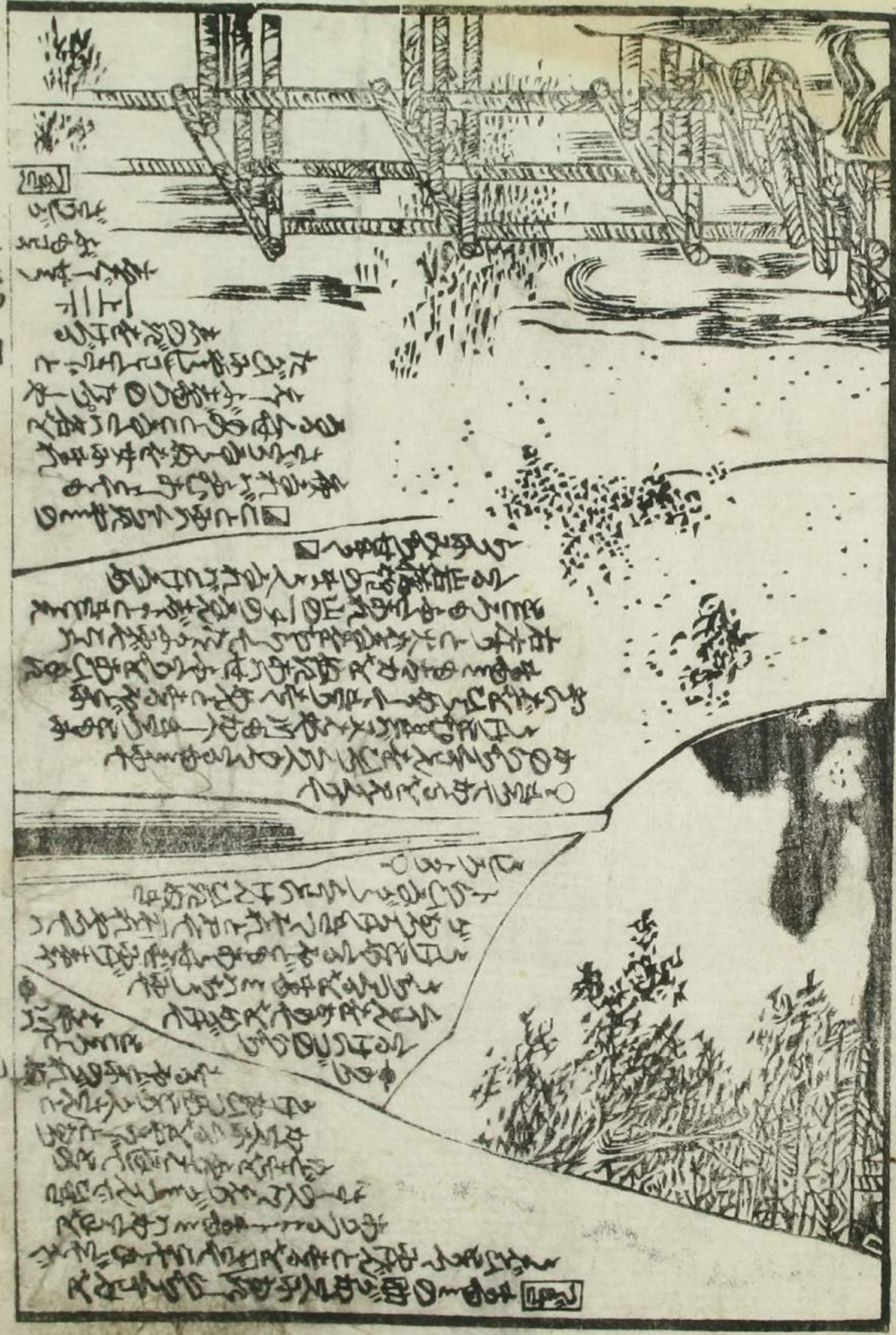


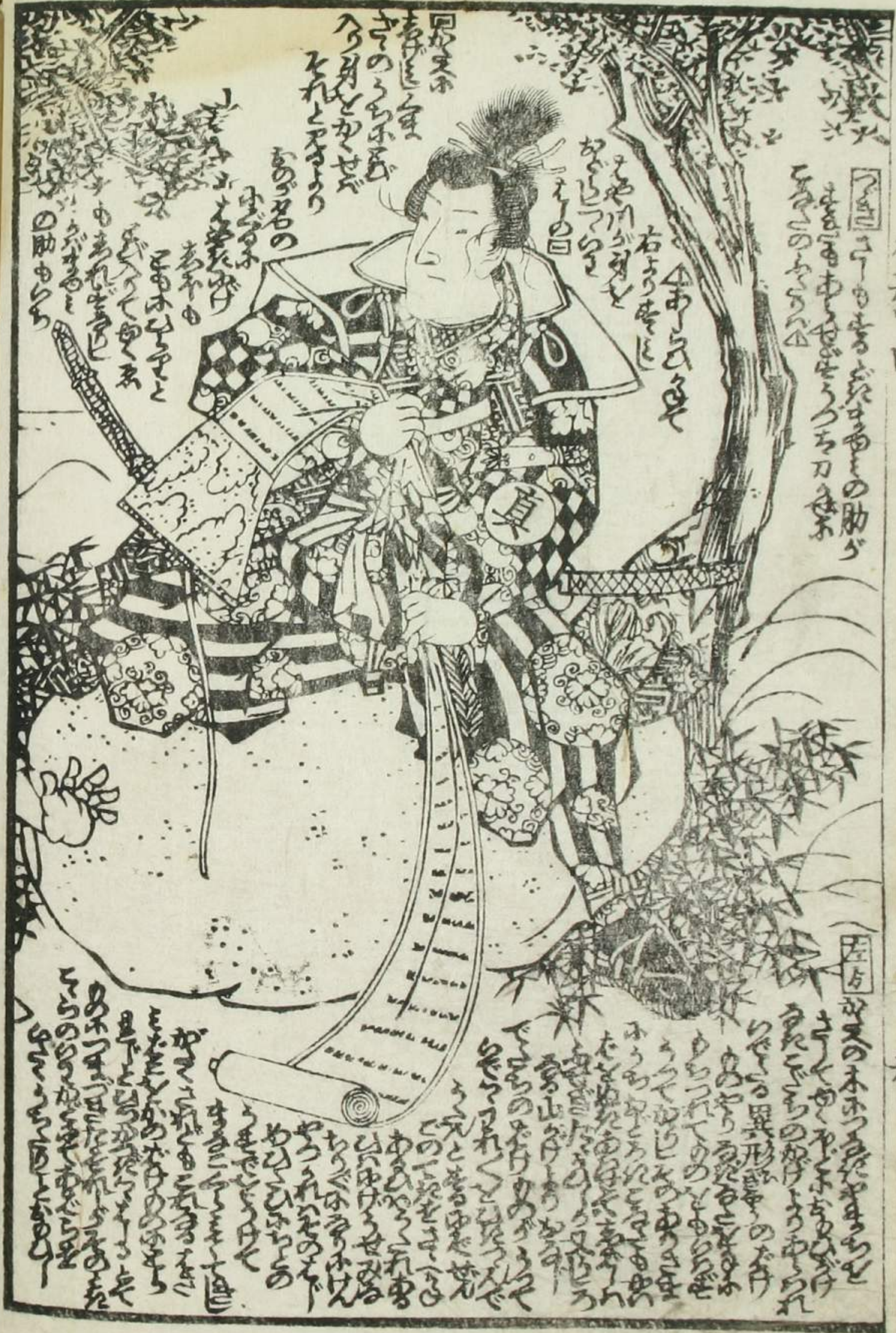
あきらめ
ごころも
もかのちか
つはらみ
けのちか
くものちか

あきらめ
ごころも
もかのちか
つはらみ
けのちか
くものちか

あきらめ
ごころも
もかのちか
つはらみ
けのちか
くものちか







右の木の影に
おぼろげに
おぼろげに
おぼろげに

右の木の影に
おぼろげに
おぼろげに
おぼろげに

左の木の影に
おぼろげに
おぼろげに
おぼろげに



右の木の影に
おぼろげに
おぼろげに
おぼろげに

左の木の影に
おぼろげに
おぼろげに
おぼろげに

國曆画春水作



森壽堂刊行

曲亭翁

女水滸

傳 十五編 大尾

曲亭馬琴作

歌川豊國画

藏板略目錄

風俗金魚傳

五編 馬琴作 大尾 國安画

雲雀山蓮系織

五編 玉蘭齋作 大尾 貞秀画

風俗伊勢物語

十編 仙果作 出板 貞秀画

國字水滸傳

二十編 仙果作 出板 國芳画

三國志画傳

廿編 貞一作 廿編 直久画

【三】さるやとておまもりの助のかるまを
わたがむらりのこのかえとかのわたり
はむらりのさるやとておまもりの助のかるまを
わたがむらりのこのかえとかのわたり
はむらりのさるやとておまもりの助のかるまを

おまもりの助のかるまを
わたがむらりのこのかえとかのわたり
はむらりのさるやとておまもりの助のかるまを
わたがむらりのこのかえとかのわたり
はむらりのさるやとておまもりの助のかるまを



おまもりの助のかるまを
わたがむらりのこのかえとかのわたり
はむらりのさるやとておまもりの助のかるまを
わたがむらりのこのかえとかのわたり
はむらりのさるやとておまもりの助のかるまを





室のあつち
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...



...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...



馬を走らむひそれてだんぢにやある
この馬を走らむひそれてだんぢにやある
この馬を走らむひそれてだんぢにやある

上り四つち
おじやの
おぢやの
おぢやの
おぢやの
おぢやの
おぢやの
おぢやの

馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の

馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の



馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の

馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の
馬の助の



よつと入とうせふとのひつて
さかだちあやむらた舞衣
おまらへくちあやむらた舞衣
よつと入とうせふとのひつて
さかだちあやむらた舞衣
おまらへくちあやむらた舞衣
よつと入とうせふとのひつて
さかだちあやむらた舞衣
おまらへくちあやむらた舞衣

かきあはれ
みあはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



なましん... (vertical text)

うま... (vertical text)

あま... (vertical text)

四



三の... (vertical text)

あま... (vertical text)





あまた
あまた
あまた

あまた
あまた
あまた

あまた
あまた
あまた

あまた
あまた
あまた



あまた
あまた
あまた

あまた
あまた
あまた

あまた
あまた
あまた

あまた
あまた
あまた

あまた

あまた

文久三癸亥孟春發行目錄

弘化大雜書万々曆 全一冊

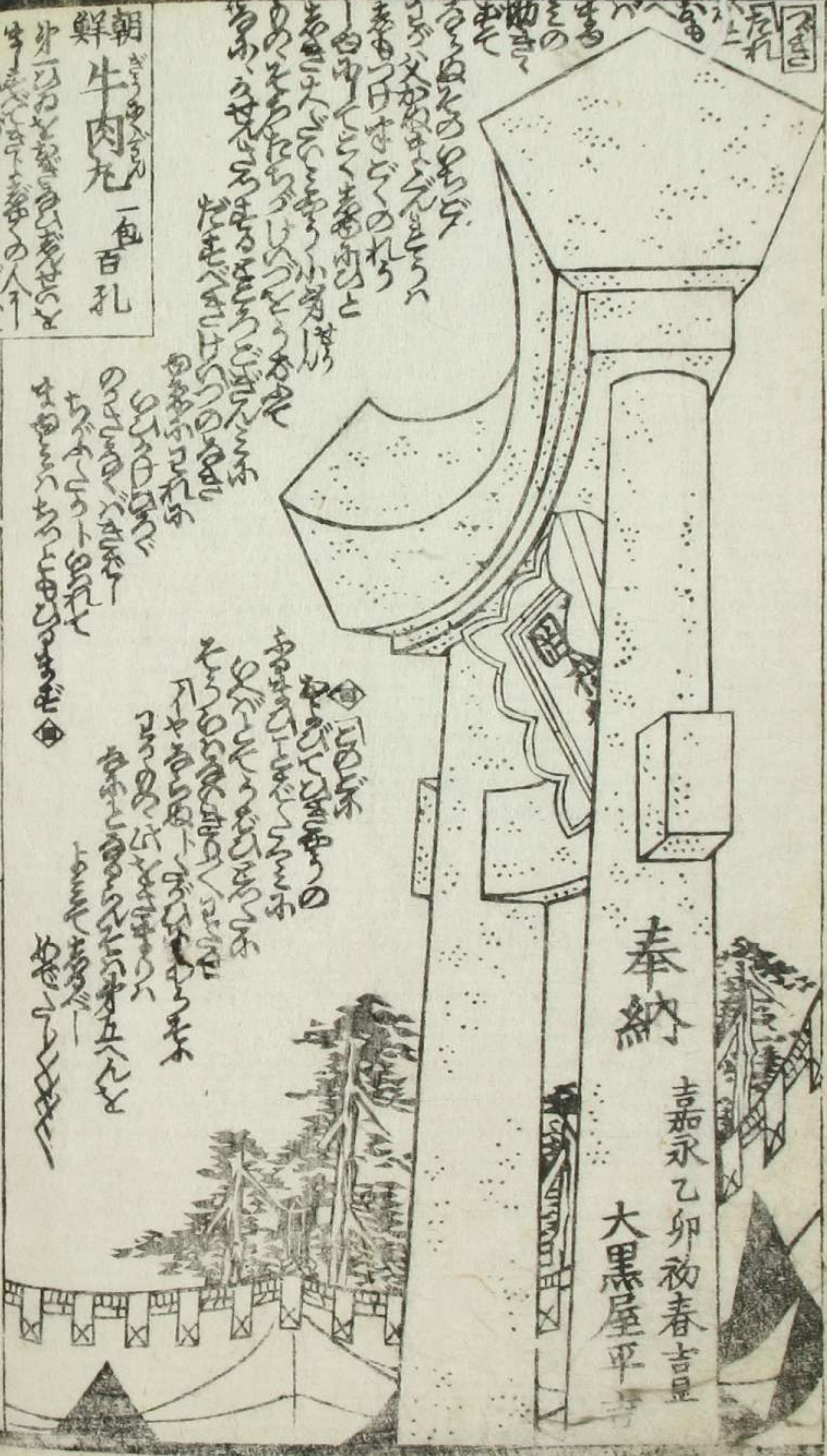
○佐野渡雪八ッ橋 八編 為永春水作
九編 梅蝶樓國貞画

○昔語室壁太郎 八編 為永春水作
九編 一壽齋國貞画

○愛娘出世太平記 三編 為永春水作
四編 一曜齋國貞画

ト地本草紙問屋 松壽堂 東都西國吉川町
大黒屋平吉板

為永春水作一圓齋國貞画



八橋

二十

